

浜嶋です。

おはようございます。

もうすぐ春ですね。修了式、入隊式、上進式が近づいてきました。修了式はどんな感動があるのでしょうか。この式典で流す定番の曲があります。ご存知でしょうか。カラオケで流れるので分からない保護者も多いかなと思います。

私が、吹田19団に団委員として入団した年にシニア隊（現ベンチャー隊）の石井隊長（仮名）が亡くなりました。私は、カブ隊付き団委員でもあり、歌のインストラクターになっていました。カブ隊長から「浜嶋さん、葬儀のお見送りの時に『永遠のスカウト』を歌う指揮をお願いします」と言われました。

ひとたび スカウトに ちかいを立ててなりし身は いつもいつもスカウトだ
ひとたび スカウトに ちかいを立ててなりし身は いまのいまもスカウトだ
ひとたび スカウトに ちかいを立ててなりし身は 死ぬときまでスカウトだ
この世の スカウトに 命捧げてつかえなば 死してのちもスカウトだ

この歌は、修了式や入隊式、上進式で流す歌です。通常、カラオケで流していますから記憶に残りにくいですが、荘厳なイメージでいい曲です。

葬儀の時まで歌の練習を道々行うようにしましたが、いかんせん涙がこぼれて練習にならなかったのです。石井隊長は、歌のとおり生きて、亡くなってしまいました。何度も歌の意味を考えました。実にその通りなんです。いい歌だな。これ以来、永遠のスカウトを歌うたびにこのことを思いだして涙が出てきます。

兵庫県兎野原高原（鉢伏高原の近く）で行われたカブ隊の夏舎営に息子と一緒に参加しました。息子は舎営の前に足を骨折していました。みんなと一緒に歩けません。だから、宿舎から10キロ近い距離にある滝まで歩く水遊びのプログラムは、留守番のはずでした。ところが、現地に到着するころ、大きな石が重なり合っている河原を手を使いながらゆっくり歩いている息子を見てびっくりしました。石井隊長がにこにこしながら息子の後ろについていました。石井隊長が車で近くまで送ってくれたのです。石井隊長の優しさに親として心から感謝しました。

その夜、リーダー会議でのこと。翌日は、昼寝のプログラムの予定があります。石井隊長がリーダーたちに聞きました。「昼寝のプログラムはなぜあるのかな？」と。デンマザーもデンダッドも、それは、スカウトを休養させるためだと口々に答えました。石井隊長

は、みんなの顔を見ながら言いました。「これは、そうではないんだな。本当の狙いは、デンマザーを休養させるために作っているのです」が、答でした。3泊4日、デンマザーが動き続けるのは大変です。緊急の時に素早く動けるように体調管理が必要となります。だから、リーダーたちは、表向きはスカウトの昼寝というプログラムにして、裏ではデンマザーを休ませることにしていたのです。私は、このとき「へえー」、目から鱗でした。

その8年後に私が豊中2団のカブ隊隊長になりました。私は、石井隊長の教えを思い出し、舎営には必ず昼寝プログラムを取り入れました。真っ先に別室でデンマザー（デンリーダー）や副長を休ませて、私はスカウトたちを寝かせる役を担当しました。30分以上もかかって、やっと騒がしくしていたスカウトたちが寝息を立て始めます。小一時間経って、スカウトがすっきりした顔で起き出します。デンマザーも十分な休養ができたようです。私はスカウトの寝顔を見たり、次のプログラムの準備をします。

永遠のスカウトの「死してのちもスカウトだ」は、石井隊長に当てはまると実感しています。石井隊長のノウハウが受けつがれ、今も私の胸の中で石井隊長は生きています。私も石井隊長と同じように『永遠のスカウト』の4番のようになるのを目標として、日々努力しています。